

わ

が

街

わ

が

故

郷

(株)天辻鋼球製作所と門真市

かどま

(株)天辻鋼球製作所とその本社のある門真市について紹介します。

1. 株式会社天辻鋼球製作所 (商標 : AKS) <本社／本社工場>

〒571-0070 大阪府門真市上野口町1番1号
TEL 06-6908-2261(代表)

当社は、1920年(大正9年8月)に大阪市淀川区田川の元十三工場において初代社長天辻晋太郎氏の父、天辻定次郎氏が個人企業として自転車用鋼球の製造に着手しました。そして昭和8年に株式会社に改組するとともに軸受用鋼球その他鋼球の製造に着手し、翌9年に西区北堀江に本店を移転、その後、東京出張所の設置や昭和14年には大和田工場(現本社工場)を新設するなど業容を拡大してきました。昭和29年に本社を大阪府門真市(現本社工場)へ移しました。昭和48年には滋賀県近江八幡市に滋賀工場を新設し、鋼球の需要に対応しております。

また海外にも積極的に進出し、昭和63年にはアメリカのアイオワ州に米国鋼球工場、平成元年にはイギリスのダーハム州に英國鋼球工場、12年にはインドネシアのジャカルタにインドネシア鋼球工場をいずれも日本精工(株)との合弁で新設しました。アメリカ・イギリスの工場は現地調達比率の向上を、インドネシア工場は価格

競争力の強化とアジア地区での拡販を目的に建設。現在、ポーランドに新工場を建設中であり、アメリカ・ヨーロッパ・アジアへとグローバルに展開しております。



本社・本社工場全景

当社は会社設立以来今日に至るまで、技術・品質でもって成長してきた会社であり、『AKSのボールなら安心して使える』また『AKSの製品なら間違いない』とお客様から言われるような高品質でコスト競争力のある製品の開発を今後も進めてまいります。

2. 門真市の位置・地勢

門真市は大阪府の北東部に位置し、広さは東西5km、南北4.5km、面積は約13km²です。大阪平野のなかでは最も低いところに位置し、市内の大部分は海拔2m以下の低湿地にあることから、昔から水との関わりが深く、深い層から貝

の化石などが見つかっており、昔は海であったと言われています。

「門真」の由来については、アイヌ語で“谷間”という意味だとの説と、この付近がむかし海だった資料が発見されたことから“港の入り口”的意味ではないかという説もあります。



門真市位置図

門真市はもともと穀倉地帯で、よく知られている河内レンコンが特産物でしたが、工場の進出や宅地造成により農村地帯から産業都市へと移行、現在は東部大阪工業地帯の重要な位置を占めています。

交通機関は、北部を京阪電車が走り、市内には西三荘・門真市・古川橋・大和田・萱島駅があり、南部には地下鉄長堀鶴見緑地線の門真南駅、西部には大阪モノレール門真市駅と狭い市域に7つの駅があります。

幹線道路としては、中央部を東西に国道163号が横断、西部を南北に府道大阪中央環状線や近畿自動車道が横断し、門真市の産業発展に大きな役割を果たしています。

3. 門真の歴史（史跡・文化財）

門真に人が住み集落ができ始めたのは弥生時代で、これまでに数々の遺物が出土されていますが、新たな発掘により3500年前の土器も出土し、もっと以前から人が住んでいたと推測され

ます。

中世から江戸時代にかけては、大坂の近郊村として開拓が行われました。戦後、高度経済成長期には工場の進出や宅地開発が次々に進められ、人口も急増し、大阪の衛星都市として爆発的に都市化が進みました。

門真市の誕生

門真市は昭和38年8月に人口数66,582人をもって市制を施行しました。府下では27番目、全国では556番目の市です。

4. 門真市の史跡・文化財

門真市内の指定文化財は、国指定天然記念物1件、府指定天然記念物1件、府指定史跡1件と14の埋蔵文化財包蔵地があります。

<国指定天然記念物>

薰蓋(くんがい)クス

三島神社境内にあるクスノキで、樹高25m、幹周12.5m、推定樹齢は約1000年と言われています。昭和13年5月30日に天然記念物に指定されました。



薰蓋(くんがい)クス

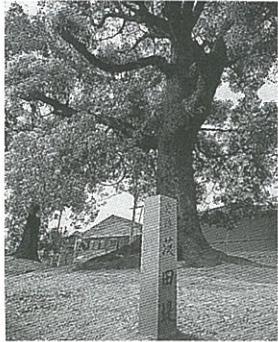
<府指定史跡>

茨田堤 (まんだのつつみ)

5世紀初め、淀川の洪水を防ぐため、仁徳天皇が築いたと言われる日本最古の本格的な堤防で、帰化人の技術を用い河内王朝が成しとげた古代史最大の土木事業。一部が現存しています。

近くには堤防守護のため、堤根神社もあります。

(本社より徒歩5分)



茨田堤（まんだのつつみ）

<遺跡>

門真市ではこれまで大和田遺跡の銅鐸、三ツ島遺跡のくり船、橋波口遺跡からは奈良時代の甕棺墓(かめかんぼ)、平安時代の祭祀遺構など、数々の遺物が発掘されています。

大和田遺跡

昭和38年5月、京阪電車大和田駅構内(本社から徒歩5分)で工事中に地表2mの砂層から銅鐸が3個まとめて出土しました。この銅鐸は弥生時代に造られたもので、小型(高さ26.5cm)で扁平な作りをしています。



門真野口銅鐸（国立歴史民俗博物館所蔵）

<本社工場で出土した土器>

昭和57年3月、本社工場の一部を建て替える際、古墳時代後期の土器が出土しました。

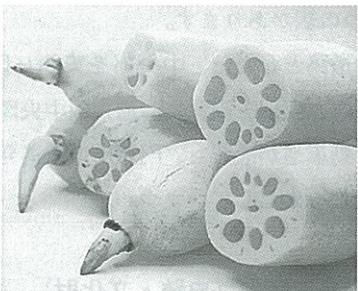


写真中央の須恵器は蓋杯(古代の食器)と呼ばれるもので、5世紀後半から6世紀初期のものです。大きさは蓋が器高4.2cm、直径10.6cm、杯身が器高5.4cm、直径11cmであり、門真市では最古の須恵器といえる貴重なものです。

写真後方の土師器、瓦器、土師質の小皿は大和田遺跡から出土したものです。

5. 門真レンコン（“失われる名物”）

淀川べりの低湿地帯は古くからレンコンの产地として有名で、門真のレンコンは北河内特産レンコンの名で売り出されていました。市内にはハス池が散在し、小舟を浮かべてレンコン堀りをする風景がよく見受けられました。しかし工場や住宅の建設でレンコン畑がどんどん埋立てられ、風情のある風景も見られなくなってしまった。



(縁起物)

レンコンは芽が上を向くので「運が上向く」、穴が通っているので「見通しが明るい」など縁

起がかつがれ、昔は贈り物にされていました。

(レンコンの原産地)

原産地はエジプト、オーストラリア、アジア等と言われていますが、日本にも古くから自生していました。今は中国から渡来した品種が主流になっています。

(レンコンの成分)

炭水化物、ビタミンC、ポリフェノール、食物繊維。

(レンコンの効果)

風邪の予防、消炎・止血作用、胃腸の強化、便秘の改善。

(料理方法)

酢レンコン、レンコンの天ぷら、はさみ揚げ、きんぴら、筑前煮、餃子、サラダ、すりおろし団子、お吸い物など。

6. 門真市の産業

門真市は松下電器産業㈱の進出により、多数の中小下請・関連工場が建設され、企業城下町として発展してきました。

産業は電気機械器具製造や一般機械器具製造・プラスチック製造などが盛んで、商業は京阪電車沿線を中心に商店街が発展しています。農業では特産品のレンコンやクワイが急激な都市化におされながらも栽培・出荷されています。

このような既存の産業の振興とともに、新たな産業を育成し、産業構造の高度化が進められています。

7. 門真市のデータ

7.1 人口情報

人口…約14万人、人口密度…約1万人／km²（全国7位）、世帯数…約5万8千世帯、1世帯あたり…約2.5人、高齢化率…約14%

7.2 産業比率

1次産業…0.3%、2次産業…38.9%、3次産業…60.8%

製造業出荷額…約16.6億円／日、商業・販売額…約8.5億円／日

7.3 暮らし

都市公園…0.8m²／1人、交通事故…2.6件／日、火災…7.6日に1件、救急出動…14.7件／日、犯罪11.4件／日

7.4 姉妹都市

国内：兵庫県美方郡村岡町

村岡町の恵まれた自然をいかして「門真市村岡自然ふる里村」は“心のふるさと”として広く市民に愛されています。

海外：(オランダ) アイントホーフェン市

歴史のある[光のまち]、人口約20万人。(ブラジル) サン・ジョゼ・ドス・カンポス市

ハイテク産業の集結都市、人口約50万人。

7.5 市の木・市の花

市の木…「楠(クスノキ)」

市の花…「さつき」

8. 市民行事

門真市の市民行事を紹介します。

春…「市民総合体育大会」

夏…「ふる里門真まつり」

秋…「市文化祭」

(株式会社天辻鋼球製作所 山中 和夫)